



三鷹中央リハケアセンター『運営理念』

「在宅生活への復帰」と「自立支援」を目指した
リハビリを行います。
障害をお持ちの方の人間としての尊厳を守る
お世話をいたします。
明るく家庭的な雰囲気、地域や家庭との
結びつきを重視した運営を行います。

三鷹中央病院『医療理念』

地域医療の第一線を担う
病院であることを誇りにもち
いつでも どなたでも診療いたします。
常に親切・安心・質の高い医療の
提供を心がけ、
事故のない病院をめざします。



日本医療機能評価機構
三鷹中央病院は、令和5年8月
に日本医療機能評価機構3rdG:
Ver.2.0の認定を受けました。

新年のご挨拶



医療法人社団 永寿会
社会福祉法人 正寛会
理事長 吉田 正一

明けましておめでとうございます。
昨年1年間、三鷹中央病院をはじめ両法人に対し
まして、皆様方のご支援・ご協力を賜りまして厚く
お礼申し上げます。

本年もどうぞ宜しくお願い申し上げます。

新型コロナウイルス感染症は、23年5月に5類感
染症へと移行し、発生してから昨年12月で丸5年が
経過しましたが、未だに収束する気配がありません。
病院や介護施設でも、感染ルートが不明瞭な施設内
感染が散発的ではありますが今でも多発していて、
時には入院や入所制限を余儀なくされるなど大変ご
迷惑をお掛けしています。

冬になって、新型コロナウイルス・インフルエン
ザ・マイコプラズマ肺炎の3つが同時に流行して、
「トリプルデミック」というアメリカ生まれの造語
も耳にするようになりました。これに今でも改善さ
れない薬不足が拍車をかけて、事態はより深刻化し
ています。

昨年末に来日した新型コロナウイルスの発生時か
ら対応に当たって来たWHO（世界保健機関）の専
門家は、日本の3密対策などのコロナ対策を、「迅速
で、科学的根拠に基づいていた」と評価する一方で、
日本も含めて人々がコロナ禍が無かったかのように

生活していることを懸念し、「大きな危機は去ったが、
ウイルスは進化を続け、今も亡くなる人がいる」と
警鐘を鳴らしています。

緊急事態宣言などの強い感染防止対策で抑制でき
た20年の新型コロナウイルス死亡者数は年間約3400人で
したが、22年は約4万7600人、5月に5類に移
行した23年は1年間で約3万8000人、24年も23
年と比べてわずかに少ない程度です。5類移行後も、
死亡者数は移行前とあまり変わらない高い状態が続
いています（24年12月23日、日本経済新聞夕刊）。コ
ロナの死亡者が減らないのは、新型コロナウイルス
は変異しやすいうえ、高齢者が重症化するリスクが
高いためとされています。そして重症度に比例せず
に生じる後遺症の問題もあり、ワクチン接種などの
感染予防が大切です。

日常の市民生活が脅かされるのは、感染症ばかり
ではありません。これまで多発していた「特殊詐欺」
に加えて、昨年は「闇バイト」による凶悪事件も多
発しました。三鷹市大沢でも強盗未遂事件が発生し、
身近で起こった事件に驚きました。弊法人が運営す
る訪問歯科が、「振り込め詐欺」の被害防止に一役
買って三鷹警察署に表彰されましたが、詳細は別稿
に譲ります。

そして、昨年の正月には、石川県能登地方を震源
とするマグニチュード7.6の大地震が発生し、9月
には豪雨が追い打ちをかけて複合災害になりました。
両災害による死者は、昨年末までに500余人が
「災害関連死」として認定されていますが、首都圏
で同規模の災害が生じたら、果たして被害はいか程
になるのか想像もつきません。

三鷹中央病院は、改修を重ねながら築50年を超える建物で診療を続けていますが、建物の老朽化やスペース不足が最早限界に達している、平時でさえ現状のままでは安心・安全な医療サービスの提供が困難になってきています。そこで、15年ほど前から病院の新築を模索してきましたが、現在地での建て替えとなると今の半分以下の規模の病院しか建てられず、また近隣に適した土地もなく、計画は頓挫していました。そんな中、三鷹市が防災都市づくりの観点から、日常的な地域医療はもとより、主として感染症対策と災害時医療の両面から市内医療体制の充実強化を図っていくことが必要とし、「井口1丁目8番用地への医療事業者誘致選定に係るプロポーザル公募要項」を発表しました。政府が今年度予算で、主要施策の柱として「事前防災の充実をはじめとする災害対応力の強化」を掲げていますが、三鷹市が国の政策に先んじる先見の明を発揮したことになります。

三鷹市の計画は、井口グラウンドの約56%をグラウンドとして残

して、南側敷地約5500㎡を定期借地として市内の病院を誘致するというものです。三鷹中央病院はその公募に応募して、正式に事業施行候補者として選定され、昨年8月から事業の進め方に関して三鷹市との協議を始めています。しかしながら、15年前に計画した時より建築費は約2.5倍に値上がりしており、果たして計画通りに進められるかどうか微妙な状況です。日本中の多くの病院が、建築費高騰のあおりで新築計画の先延ばしや白紙撤回を余儀なくされている中で、弊院の計画も未だ不透明さはありませんが、特に大震災などの有事を考慮すると待った無し of 状況であり、感染症対策としてなるべく多くの個室も必要であり、何とか新築移転を成就達成すべく取り組んでいます。

三鷹中央病院を強化することにより、発災時にも医療機能を停止せずに、通常の診療体制の維持は勿論、災害に関連する外来及び入院医療にも十分に対処して、今以上に地域に貢献できる病院になりますよう、皆様のご理解・ご支援・ご指導を伏してお願い申し上げます。

新任医師の紹介

2024年11月から三鷹中央病院に入職いたしました、佐藤俊一と申します。どうぞよろしくお願い致します。専門は循環器内科ですが当院では内科全般の治療にあたっております。

この場をお借りして、以前の病院で関わってきた睡眠時無呼吸症候群についてご説明したいと思います。

睡眠時無呼吸症候群とは睡眠中に呼吸が停止する病気であり、症状としてはいびき、昼間の

眠気、熟睡感の消失、起床時の頭痛などがあります。睡眠時無呼吸症候群では空



内科医長 佐藤 俊一



気の通り道である上気道が閉塞し、それにより引き起こされる低酸素血症、交感神経の亢進がいろいろな病気を引き起こします。

睡眠時無呼吸症候群が疑われる人には、問診と簡易検査を受けていただき、適応があればCPAP療法が行われます。CPAP療法は睡眠時にマスクを装着し、空気を送り込むことにより、気道の閉塞を防ぐという治療法です。CPAP療法により心血管イベントを抑制し、生命予後を改善させることが期待できます。

いきびや日中の眠気がある方は、ぜひ一度、睡眠時無呼吸症候群の検査を受けることをお勧めします。

5階病棟のご紹介



5階病棟（29床）は、2024年10月より「地域包括医療病棟」に変更となりました。

地域包括医療病棟では、高齢の救急患者さんを受け入れる体制を整え、リハビリテーション、栄養管理、退院支援等の機能を包括的に担う病棟です。医師、看護師、看護補助者、リハビリ、管理栄養士、医療ソーシャルワーカーがチームとなり、早期退院に向けて様々な支援を行っています。

多職種チームと定期的カンファレンスを行うことにより、患者さん個々に合わせた支援を行うことができ、カンファレンス以外でもリハビリ進行状況を確認したり、食事が進まない場合は管理栄養士に相談したりとコミュニケーションが取りやすい環境にあります。

また、当院には訪問診療所・訪問看護ステーションが併設されているため、退院後も継続した診療・看護を受けることもできます。



5階病棟には幅広い年齢層のスタッフが勤務しており、アットホームな雰囲気の中、安心して長く働ける環境作りを大事にしています。

入退院支援に興味がある方、一緒に働きませんか。興味・関心のある方は当院ホームページをご覧ください。

<https://m-eijyukai.or.jp>



三鷹警察署よりふれあいデンタルクリニック職員に対して

感謝状が贈呈されました ～振り込め詐欺防止～



令和6年10月15日患者宅を訪問したところ、患者さんが電話対応中であり、その様子から「振り込み詐欺」の電話だと察知し、被害を未然に防ぐ行動を取りました。このことから令和6年11

写真左より
三鷹警察署長、
根本院長、
小山歯科衛生士



月26日警視庁三鷹警察署より感謝状の贈呈がされました。

これからも地域に根ざしたクリニックを目指してまいります。

◎三鷹中央病院

住所：〒181-0012 東京都三鷹市上連雀5-23-10
Tel：0422-44-6161 (代) Fax：0422-48-9009

☆患者様の訴えを素直に受けとめて、
診療内容をわかりやすく説明し、最善の医療を提供します。

診療科：内科・循環器内科・内分泌科・呼吸器内科・呼吸器外科・腫瘍内科・
外科・消化器内科・消化器外科・肛門外科・脳神経外科・整形外科・
皮膚科・泌尿器科・眼科・血液内科・神経内科・乳腺外科・
リハビリテーション科・放射線科・麻酔科

人間ドック・特定検診・禁煙指導

診療時間：月～土曜日 / am9:00～12:00 pm2:00～5:00
(救急外来は24時間受付)

病床数：急性期一般1：75床、地域包括医療：29床、地域包括ケア：18床

関連施設：ふれあい診療所 Tel：0422-79-1313
三鷹ふれあい訪問看護ステーション Tel：0422-48-6031
ふれあいデンタルクリニック Tel：0422-29-8242



◎三鷹中央リハケアセンター

住所：〒181-0013 東京都三鷹市下連雀9-2-7
Tel：0422-70-0700 (代) Fax：0422-70-0701

☆心のもった介護、看護、リハビリテーションを提供し
「在宅生活への復帰」と「自立支援」を目指します。

ベッド数：100床（一般療養100床）

4床室/19室 2床室/1室 個室/22室

施設設備：機能訓練室（207.00㎡）機械浴室（男女別）自立浴室

関連施設：通所リハビリテーション（定員60人） Tel：0422-70-0700

訪問看護ステーション Tel：0422-70-1055

居宅介護支援事業所 Tel：0422-70-1066



◎ケアコート武蔵野

住所：〒180-0023 東京都武蔵野市境南町5-10-7
Tel：0422-39-0390 (代) Fax：0422-39-0392

☆利用者の皆様にとっても、そして職員にとっても、
楽しく生きがいの持てる施設づくりを目指しています。

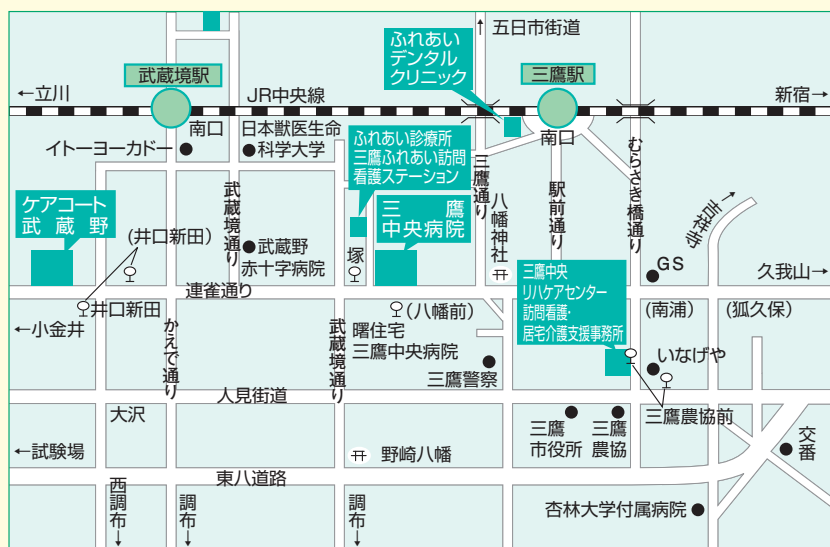
入所数：80床（9ユニット）

事業内容：特別養護老人ホーム 72床（8ユニット）
短期入所生活介護 8床（1ユニット）

特徴：○全室個室のユニットケアを実施します。
○「安心」「安全」「快適」な空間と人を大切にしたい
サービスの提供に努めます。



ACCESS



三鷹中央病院

JR中央線 三鷹駅（南口）

- 小田急バス ②「新小金井駅」行
②「武蔵境営業所」行
②「調布駅北口」行

『曙住宅・三鷹中央病院前』下車徒歩1分

○タクシー（1区間）

三鷹中央リハケアセンター

JR中央線 三鷹駅（南口）

- 小田急バス ⑧「野ヶ谷」行
『MCC三鷹ビル前』下車徒歩1分

JR中央線吉祥寺駅（南口）

- 小田急バス ⑧「調布駅北口」行
『MCC三鷹ビル前』下車徒歩1分

京王線 仙川駅（北口）

- 小田急バス ①「三鷹駅」行
『三鷹農協前』下車徒歩1分

ケアコート武蔵野

JR中央線 武蔵境駅（南口）下車（徒歩15分）

- 小田急バス ③「狛江駅・狛江営業所」行
④「吉祥寺駅」行

『井口新田』下車徒歩1分